

富医ニュース



新時代の幕開け



日々の診療だけでなく医療情勢にも関心を

今月から新しい令和の時代が始まります。

平成の時代は、自然災害が多く防災に対する意識が大きく変化した時代でした。そして、医療機関の運営が大変厳しくなっていった時代でもあり、医療法人の34%が赤字、自治体立病院の9割が赤字に陥っています。

消費税増税であったり、電子カルテや新しい医療機器導入であったり、人件費の上昇であったりコスト負担は増えているにもかかわらず、社会保障費抑制の流れを受けて診療報酬は伸びず、年々利益率は低下しているからです。

働き方改革関連法により、医師の時間外労働を是正するためには新たに医師を雇用する必要があり、病院においては、さらにコスト負担が増えることになります。

医療機関は、コスト削減や業務効率化など生産性を上げる努力が急務であると言われています。果たして、努力すべきは医療機関だけでしょうか。

本来国は、国民の命や健康を守る医療機関が先々まで健全に存続し、役割を果たし続けられるように制度設計すべきですが、社会保障費抑制を第一義に掲げる政府、行政に押し切られているのが現状です。現場を知らない官僚が作る制度は、現場にそぐわないものが多々見られます。

過去の消費税増税の時に、診療報酬で補填すると言いながら、実質は医療機関にとっては不十分な結果になっていました。今年の10月に行われる消費税増税に際してはそのようなことがないよう望されます。

日々じめに診療していれば大過なく自らの診療ができ、それなりの対価を得ることができた時代は過去のものとなりつつあります。

医療の専門的な知識を持ってより良い医療制度を構築できるように政府、行政に進言して実行に移せる一番の立場にいるのが医師会推薦の国会議員羽生田たかし先生と自見はなこ先生です。同じ国会議員でも当選回数と獲得票数によって行政に対する発言力が違ってきます。

郡市区等医師会を通じて現場の声を日本医師会に上げ、その声を医師会推薦国会議員から政府および行政に進言して頂かねばなりません。そして、富田林地域における問題に関しては、富田林医師会から地元自治体にお願いすることはできます。

防災に対して医師会として、救護所を中心にグループ分けして災害発生時どのように行動するかマニュアルを作成しています。それぞれの地区ごとに連携を図って行動できるようまた地区の情報共有を図る目的で地区会を構築しますので、多くの先生方の参加をお願いします。

令和の時代をより良き時代にするために、日々の診療等において、気付いたこと、望むことがあれば医師会までご連絡ください。宜しくお願いします。（宮田重樹）

No.570 令和1年5月1日

一般社団法人 富田林医師会

会長 宮田 重樹

〒584-0082 富田林市向陽台1丁目3-38

TEL.(0721)29-1210 FAX.(0721)28-0858

E-mail : mail@tondabayashiishikai.jp

調 整 日

4月分 5月8日(水)
PM3:00まで

5月分 6月6日(木)
PM3:00まで

5月 の 予 定

7日(火)・休日診療委員会

8日(水)・調整日

・救急災害医療委員会

13日(月)・会長副会長連絡会議

14日(火)・学校医部会

16日(木)・学術講演会

17日(金)・理事会

20日(月)・訪問看護ステーション
運営委員会

24日(金)・広報調査委員会

27日(月)・総会

28日(火)・感染症対策委員会

・広報調査委員会

(校正)

平成31年 4月定例理事会

日 時 平成31年4月12日(金)
13:30より
場 所 医師会 特別会議室

会長挨拶

報告事項

- 1) 学校医報酬について
内科は児童1人単価を300円に変更
- 2) 風疹予防接種について
- 3) あすか会継続協議について 河内長野市医師会の終活ガイダンスの説明会を15日のカンファレンスの後に説明に来ていただけるので参加お願いします。
- 4) 三師会40周年記念式典予定。
- 5) 引き続き医師資格証を取得お願い致します。
- 6) 平成31年度特定健診・特定保健指導単価について

協議事項

- 1) 入退会の件
- 2) 高齢者保健福祉計画等推進委員会委員に赤松理事を推薦。
- 3) 国民健康保険運営協議会委員に赤松理事、堀野先生を推薦。
- 4) 学校保健に関するアンケート調査のお願い
福田理事に依頼
- 5) 「子育てネットワーク・河南」に係る委員に仲谷理事を推薦。
- 6) 平成30年度事業報告。
- 7) 2019年度事業計画(案)について。
- 8) 2019年度予算(案)について。
- 9) その他、地域医療連携に関して地区会を開催。
- 10) 南部広域小児救急予算の見直しを提案していく。
- 11) 学術講演会を他医師会と合同開催を検討。



令和1年 定例総会ご案内

日時 令和1年5月27日(月) 14:00~15:00

場所 医師会 大会議室

総会次第

- ☆ 開会 出席会員数確認後議長により開会宣言
- ☆ 議事録署名人選出
- ☆ 会長挨拶
- ☆ 入退会会員紹介
- ☆ 表彰
会員20・10年表彰

総会議事

[議案]

- I. 平成30年度事業報告及び令和1年度事業計画案承認の件
- II. 平成30年度医師会決算および平成30年度訪問看護事業特別会計決算承認の件
- III. 令和1年度医師会予算案および令和1年度訪問看護事業特別会計予算案承認の件
- IV. 役員改選承認の件
- V. その他

☆閉会

富田林医師会睡眠療法講演会

日時 2019年5月16日(木) 14:00~15:00

場所 医師会 研修室

特別講演

「明日を変える不眠症の話

～診療報酬改定から未来が見える!～」

座長 医療法人 善誠会 やまもと整形外科医院

山本 善哉先生

演者 医療法人 上島医院

院長 渥美 正彦先生

新規の不眠症治療薬は従来の薬剤のように鎮静剤では無い。従来の薬剤を服用されている患者様は上手く切替ができない患者様も多いかと思います。

今回は4月からの診療報酬改定もふまえ新規の不眠症治療薬が適した患者様、従来の不眠症治療薬が適した患者様を実症例を用いて紹介致します。

※本会は大阪府医師会生涯教育研修単位を取得予定です。
(20:不眠)

平成31年度 予防接種研修会開催

管内4市町村の保健センターと当医師会共催で、予防接種委託契約機関となる条件としての説明会が3月26日(火)に医師会大会議室で行われました。

宮田会長の挨拶の後、今年度は千早赤阪村健康福祉課(保健センター)担当者の進行のもと、太子町健康増進課担当者より今年度の予防接種についての説明等がありました。引き続き、当会藤岡雅司理事より、『確實に間違いなく予防接種を行うために』の演題で各予防接種に関して詳細でわかりやすく解説をしていただきました。今年度から風疹の追加対策が開始されることとなり、集合契約を締結された医療機関はクーポン券を持参された方への対応をよろしくお願い致します。また今回は、予防接種説明会の後に骨粗鬆症の地域連携説明会が行われ、大阪南医療センター橋本 淳先生から富田林市・河内長野市・大阪狭山市での双方向性骨粗鬆症連携システムの構築についてお話がありました。

本年度も定期接種を安全で円滑に行えるようにご協力お願いいたします。

富田林医師会女性医師の会

4月に入つて一番暖かい日となつた、4月13日土曜日。インターナショナルホテル大阪のフレンチレストラン“ピエール”にて富田林医師会女性医師の食事会を行いました。今回は2名の先生に初めて参加していただき、総勢10人での食事となりました。乾杯は大槻先生にお願いして、美味しいシャンパンを味わいました。水牛のモツアラレ! フォアグラ! オマールブルー! デザートは、話題のルビーカカオを使ったチョコレートまで、インスタ映えする(ほとんど誰もインスタはしていませんが…)お料理が続きました。ぐいぐいアルコールを飲める人、全く飲めない人がいますが、ソフトドリンクも充実していて女性に嬉しいレストランです。

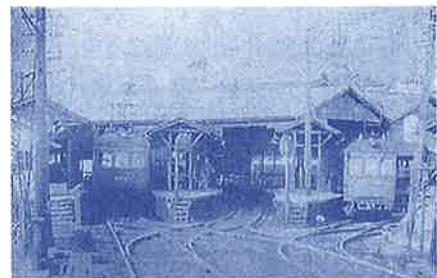
日頃、診療や、家事、子育てに介護と、忙しい先生方のストレス発散の場になつてゐるのではないか? 次回は秋にと約束して、会を終了しました。

いつも、美味しいレストランを手配してくださる堀さんに感謝です。
(南 栄子)

* 鉄道トリビア ~阪急神戸線その5~

わずか30分で阪神間を結ぶ速さとお洒落さを兼ね備える阪急神戸線。創始者小林一三が悪線と嘆いた御影のS字カーブを後にし、神戸市街まで一気に、と行きたかったのですが、終点を前に立ちはだかったのは神戸市というラスボスでした。今回はそのお話を。

六甲の麓から駆け下りてきた阪急が申請したのは、高架線による神戸市街への乗り入れでした。しかし神戸市は市街が分断されるとして地下化を要請します。地下線では建設費がかさむため阪急は難色を示しましたが、国がだした結論は地下線による敷設許可でした。当時の神戸市や大阪市は、市内中心部の交通は市が作って管理するという姿勢を貫いており、神戸でも路面電車による交通網が整備されていました。神戸市の要望を受け入れられない阪急は当面の措置として、神戸市電の山手東端の終点である上筒井(現在の王子公園駅から西に約900m)に1920年、暫定のターミナルを開業します。当初はここが阪急神戸駅とされていました。神戸市内へはここから市電に乗り換える形として、阪



(図1)

急は高架線での建設の機会をうかがつたのです。

市街地の再開発を進める神戸市は阪急だけでなく、先に開通していた国鉄、阪神にも地下化を要求します。当初神戸市内を併用軌道(いわゆる路面電車の形態)としていた阪神は、阪急が進出してくることへの焦りから神戸市の要請を受け入れ、市街部の地下線化を完了します。一方国鉄はやはり高い建設費を理由に難色を示し、高架化を拒みます。結局国には逆らえなかったのか、神戸市は国鉄には高架化を認めてしまいます。これを機に、阪急は再び神戸市に対して交渉を行い、ついに高架線による市街地乗り入れを認めさせたのです。

地上線時代の国鉄三ノ宮駅は現在の元町駅の位置にありましたが、高架化工事の際、神戸市が進めていた三宮地区繁華街化計画に従つて1931年に現在の位置に移動。阪急はこれに隣接するように本ターミナルとしての阪急神戸駅(現、神戸三宮駅)を1933年に開

業します。神戸市街の阪急の高架線が国鉄(JR)とぴったり並行して作られているのは、市街地の分断を極力避けるための路線選定なのです。

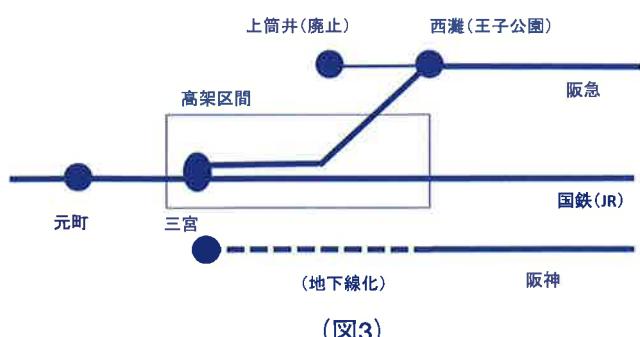
高架線による三宮への新しい本線は、暫定ターミナルであった上筒井駅の900m手前から分岐して作られました。その分岐点に作られたのが西灘駅(のちの王子公園駅)です。三宮までの本線開通後、西灘と上筒井の間は「上筒井線」という支線になり、4



(図2)

年ほど存続しましたが同区間に神戸市電が延長されて廃止となっています。ただ本線からの分岐部が保線用の引き込み線として今も残されており、今でもその名残を車窓から眺めることはできます。ちなみに王子公園の一部である王子動物園はその昔、関西学院大学のあった場所なのです。現在の西宮地区に阪急が誘致して学校を移設してもらい、跡地を公園や動物園として、新たな集客を図る。阪急の戦略がみてとれるエリアなのです。

いよいよ三宮に到着です。これで阪急神戸線の旅も終わりですが、終点の三宮駅を含めた神戸市街の鉄道の歴史は、それだけで一つのお話になるくらい深いものがあります。その話は次の機会に。ではまた。(zenkun)



(図3)

図1 暫定ターミナルの上筒井駅。

図2 王子公園近くの側線。ここから上筒井線がでていました。ともにWikimapiaより引用。

図3 周辺路線模式図

4月行事・会合

2日(火)・休日診療委員会

8日(月)・調整日

・会長副会長連絡会議

12日(金)・理事会

13日(土)・女性医師の会

15日(月)・訪問看護ステーション運営委員会

18日(木)・学術講演会

19日(金)・広報調査委員会

22日(月)・広報調査委員会(校正)

原稿投稿のお願い

富医ニュースを今後さらに充実したものとするために、会員の声・意見、研究報告、紀行文、感想文、思い出、隨筆、詩、短歌、俳句、写真等どの様な内容でも結構ですので医師会事務局までご投稿お願いします。併せて創立70周年記念誌への投稿もお願いします。(広報調査委員会)

○会員数(5月1日現在) 187名

A会員 98名 B会員 88名 C会員 1名

○入会 4月1日

新井 那摘 A2B(PL病院 小児科)

原田 正文 A2B(結のぞみ病院 精神科 心療内科)

秦 俊裕 A2C(PL病院 臨床研修医)

○退会 3月31日

金政 健 A2B(富田林病院)

○異動 なし

広報調査委員会

委員長	齊藤 謙介	副委員長	森井 秀樹
委員	青山 賢治 江村 俊也 遠山 佳樹 山本 善哉	天城 完二 奥野 敦史 中村 元 山村 友良	植村 匡志 尾多賀雅哉 藤岡 洋